


ポイントの結合

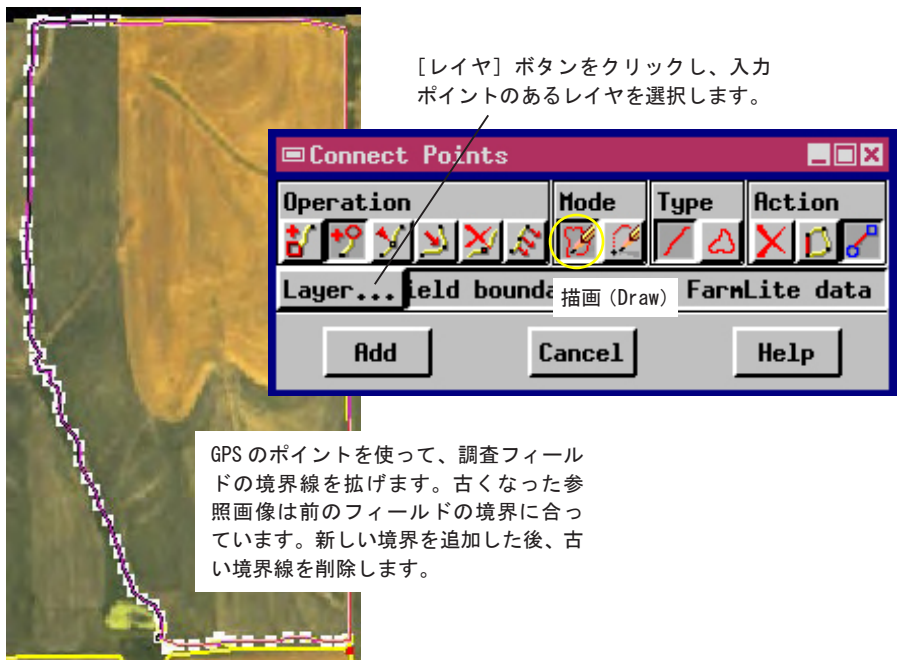
ご存知でしたか?... ポイントをトレースしてラインやポリゴンを作成することができます。

ポイントの結合ツールを使うことで...

- 「点の結合」によって要素を素早く作成することができます。
- 精密な GPS 入力で地理データを更新することができます。
- 他のオブジェクトの参照ポイントを用いて自分のオブジェクトにラインを「描画」することができます。
- 「描画」すると、ラインが参照ポイントの位置に正確にスナップします。
- 開始ポイント、終了ポイント、ラインの方向、含ませるポイントを選択することができます。



[ポイントの結合] ツールを使って描画すると、ラインは入力または参照レイヤの中の最も近いポイント要素の位置に正確にスナップします。



[レイヤ] ボタンをクリックし、入力ポイントのあるレイヤを選択します。

GPS のポイントを使って、調査フィールドの境界線を拓げます。古くなった参照画像は前のフィールドの境界に合っています。新しい境界を追加した後、古い境界線を削除します。

ポイントの結合の使い方

- 空間データエディタにおいて参照レイヤまたはアクティブな編集レイヤとして入力ポイントを追加します。
- [ベクタツール] パレットから [ポイントの結合 (Connect Points)] アイコンを選択します。
- <ポイントの結合 (Connect Points)> ウィンドウの [レイヤ] ボタンをクリックし、入力ポイントのあるレイヤを指定します。
- [ポイントの結合 (Connect Points)] ツールを使ってトレースします。マウスボタンをクリックすると、エディタは新しい線分をプロトタイプラインに追加し、終点を最も近い入力ポイントにスナップさせます。
- <ポイントの結合> ウィンドウの [追加] ボタンをクリックし、新しいラインやポリゴン要素としてトレースを保存します。

さらに知りたいことがあれば...



以下のテクニカルガイドをご覧ください：
ベクタ地理データの編集 (Editing Vector Geodata)

